

平成21年度 名古屋大学大学院国際言語文化研究科公開講座

言葉と文化の国際交流

国際交流とは歴史的に見て、文明の接触あるいは文明の移転・移植が行われる経路であり、この交流を契機として既存の文化は飛躍的な発展を遂げてきたといえます。本公開講座では、中国語・朝鮮韓国語・ロシア語・英語(米語)・独語・仏語・スペイン語・ポルトガル語の専門家が、それぞれの言語文化と日本との関係にからめて「国際文化交流」に関する話題を提供します。具体的には、翻訳・言語教育・映像などがテーマとなります。国際交流の過去の歴史を振り返りつつ、現代における新しい国際交流のあり方も紹介することで、急速な「国際化」の流れの中にある日本の現状と役割を問い直します。

- 第1回** 6月10日(水) ■エズラ・パウンドの能と漢詩の翻訳とモダニズム……………長畑 明利
- 第2回** 6月12日(金) ■ラファエル・ブリュート編ポルトガル語・ラテン語辞典に見出される18世紀前半のヨーロッパにおける日本……………水戸 博之
- 第3回** 6月17日(水) ■地域文化からグローバルな文化へ? —ブレイス語の変容をめぐる— ……………鶴巻 泉子
- 第4回** 6月19日(金) ■台湾映画のなかの日本……………星野 幸代
- 第5回** 6月24日(水) ■中国と日本 —『源氏物語』の漢訳を中心に、日中間の言葉と文化の国際交流を考える— ……………楊 暁文
- 第6回** 6月26日(金) ■言葉の翻訳／文化の翻訳……………吉村 正和
- 第7回** 7月1日(水) ■未知なる言語との邂逅……………柳沢 民雄
- 第8回** 7月3日(金) ■ことわざで見る日本と韓国……………鄭 芝淑
- 第9回** 7月8日(水) ■ドイツ近代演劇の改革と歌舞伎……………大庭 正春
- 第10回** 7月10日(金) ■外国語教育とインターネット……………尾関 修治

開催期間:6月10日(水)から7月10日(金)まで 毎週水・金曜日 全10回

開講時間:18:00~19:30

受講対象者:一般社会人、大学生、大学院生

募集人数:60名(先着順)

受講料:7,200円(募集要項に入っている「納入依頼書」により郵便局へ払込)

開催会場:名古屋大学 東山地区 文系総合館7階カンファレンスホール

申込締切:5月28日(木)まで〔必着〕

申込方法:郵送に限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。

要項の請求:募集要項の必要な方は、名古屋大学文系教務課事務局(国際言語文化研究科)〔場所:文系総合会館1階〕まで直接お越し頂くか、または、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求して下さい。

申し込みと
問い合わせ先

名古屋大学文系教務課(国際言語文化研究科)
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-5 (700)
TEL:052-789-5245〔AM9:00~PM5:00〕 FAX:052-789-4921
ホームページ:<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/events/2009/kokaikozza-2009.pdf>